

資料番号	1
------	---

令和4年10月14日
課名 地域政策局中山間地域振興課
担当者 課長 藤谷
内線 2631

「元気さとやま応援プロジェクト」の進行状況について

1 要旨・目的

中山間地域に暮らす人々が将来に向けて地域の元気さを実感できる環境を創出するため、本年度から新たに取り組んでいるこのプロジェクトの進行状況などについて報告する。

2 現状・背景

- このプロジェクトは、人口減少・高齢化が進む中山間地域において、地域づくりに取り組む人材のプラットフォーム『ひろしま里山・チーム500』（以下、「チーム500」という。）の登録者が、地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動の立ち上げに必要な経費に対する支援を本年度から行っているものである。
- これまでの間、関係市町と連携して、対象となる取組の掘り起こしを行うとともに、地域に効果をもたらす活動となるよう、その取組内容に対する助言などに努めている。

3 プロジェクトの概要

(1) 対象者：チーム500の登録者（令和4年9月末現在登録者数 526名）

(2) 事業内容（実施内容）

- 地域住民同士の交流の拡大を図るコミュニティ支援活動や、仕事づくりを通じた地域との新たなつながりを生み出す活動など、地域に密着した新たな活動の立ち上げに必要な経費を支援（補助率 ～補助対象経費の2/3（補助上限額1,000千円））
- 交付決定件数等（9月末現在）
 - ・ 交付決定件数：52件
 - ・ 交付決定額：41,479千円

(3) スケジュール

令和4年12月末まで、毎月末締めで申請を受け付け、翌月中に交付決定

(4) 予算（単県） 53,260千円

(5) 事業効果等

- 地域に根差し、地域住民の方々を巻き込みながら、地域の課題解決につながる取組が実施されている。

分野	件数
地域住民同士の交流の拡大を図るコミュニティ支援活動	17
仕事づくりを通じた地域との新たなつながりを生み出す活動	35

- 具体的には、次のような事例が取り組まれているところであり、事業の効果については、本年度の取組終了時において支援対象者により効果測定を行い、報告を求めることとしている。

取組テーマ	取組課題	取組内容等
多様性を生み出す拠点づくり (庄原市)	○ コロナ禍で外出機会が失われている独居高齢者の安否確認 ○ 地域に居住する技能実習生など在外外国人の孤立化防止 など	○ 交流拠点のリノベーション ○ 地域女性会の後継者育成 ○ 技能実習生のコミュニティ参加の促進
納涼盆踊り継承事業 (神石高原町)	○ 持続が困難となっている盆踊りの継承 ○ 仮に途絶えても復活できるアーカイブ化	○ 歌い手、踊り手有志による映像の収録と楽譜起こし ○ 定期的な視聴機会の創出
大学生による地域資源活用ビジネスモデルの研究 (三次市)	○ 地域にあるものを生かした生業創出 ○ 特に、地域で減少している若者世代（大学生）の視点を取り入れたプラン作成	○ 大学生が現地に滞在して地域資源の掘り起し ○ 大学生が作成した事業プランの磨き上げ ○ 地域住民がプランを受け入れるための環境づくり

(6) 今後の対応

引き続き、チーム500登録者の自主性を基本としつつ、地域により大きな効果をもたらす取組としての展開につながっていくよう、市町と密接な連携の下、適切な助言などに努めていく。

4 その他（関連情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/genki-satoyama.html>

(県HP：元気さやま応援プロジェクトの紹介ページ)